

2026年度 SSI（総探）

【第6回】

リサーチクエスチョンを導出しよう！

- 後編 -



2026年6月16日（火）



夏休み前までの見通し

7月7日(火)に研究計画発表会を実施します！

段階	実施内容	日程	ノート	報告書
STEP1	研究テーマを決める	5/19	(1)(2)	(1)(2)
STEP2	リサーチクエスチョンを導く	5/26	(3)(4)	(3)①②
STEP3	仮説を立てる	6/16	(5)	(3)③
STEP4	適切な研究方法を選ぶ	6/23	(6)	(4)
中間目標	研究計画発表会準備	6/30	完成	(4)まで
中間目標	研究計画発表会	7/7	完成	(4)まで

【中間目標】 プレ研究計画発表会 (7/7)

高校45期
SSI (総合探究)

プレ研究計画書兼報告書

チーム番号 研究者氏名

発表目的

- 自分たちの研究内容を明確にする。
- 他者から新たな気づきを得る。

発表時間: 1チーム4分

(1) 研究テーマ

(2) 研究背景 (研究動機やテーマについての先行研究、一般的な理解など)

(3) 研究目的

①リサーチクエスション

②リサーチクエスションの意義

③仮説(現仮)

発表内容

研究計画書
(1)-(4)部分

- 研究テーマの説明 分かりやすく！
- 研究背景 (研究動機や先行研究)
- リサーチクエスション 明確に！
- 仮説と検証方法 論理的に！

【中間目標】 プレ研究計画発表会 (7/7)

高校45期
SSI (総合探究)

プレ研究計画書兼報告書

チーム番号

研究者氏名

※チームメンバー全員の氏名を記入

具体的な研究手法の計画・実施・まとめを記録するシートです。一つの研究計画の実施が終わったあとで、さらに新しい研究計画を実施する場合には、その都度、このシートに記入します。

(1) 研究テーマ

(2) 研究背景

(3) 研究目的

①リサーチエスチョン

②リサーチエスチョンの意義

③仮説(現段階でリサーチエスチョンに対してどのような答えがあると予想しているか)

研究計画書
(1)-(4)部分

発表内容

研究テーマ

研究背景

リサーチエスチョン

仮説と検証方法

スライド

課題研究メソッド

p.142-144 ①

プレ研究計画書兼報告書

(1) 研究テーマ

生成AIの社会的課題

テーマ

チーム番号: 920

チーム番号

課題研究メソッド

p.142-144 ③

プレ研究計画書兼報告書

(2) 研究背景

研究背景

- 初めて発表を聞く人に内容を理解してもらうために、背景となる

課題研究メソッド

p.142-144 ④⑤

プレ研究計画書兼報告書

(3) ① リサーチエスチョン

(3) ② リサーチエスチョンの意義

リサーチエスチョン

- 研究に取り組んだリサーチエスチョンの内容とそれが生じた背景

課題研究メソッド

p.142-144 ④⑤

プレ研究計画書兼報告書

(3) ③ 仮説

仮説と検証方法

- リサーチエスチョンに対し、自分たちの設定した「仮説」(予想される仮の答え)をどのように設定したのかを説明する。
- 先行研究・事例から根拠を持って仮説を示すことが大事である。
- できる
- どのよ
- のか、身
- 具体的

4枚以上

発表用スライドの準備① ファイル作成

「シン・全ての教員・生徒が見られる共有ドライブ」内

自分のチームの「プレ研究計画書兼報告書」が保存されているフォルダ

 920 プレ研究計画書兼報告書

自分のチーム番号

■ Googleスライドファイルを新規作成

+ 新規

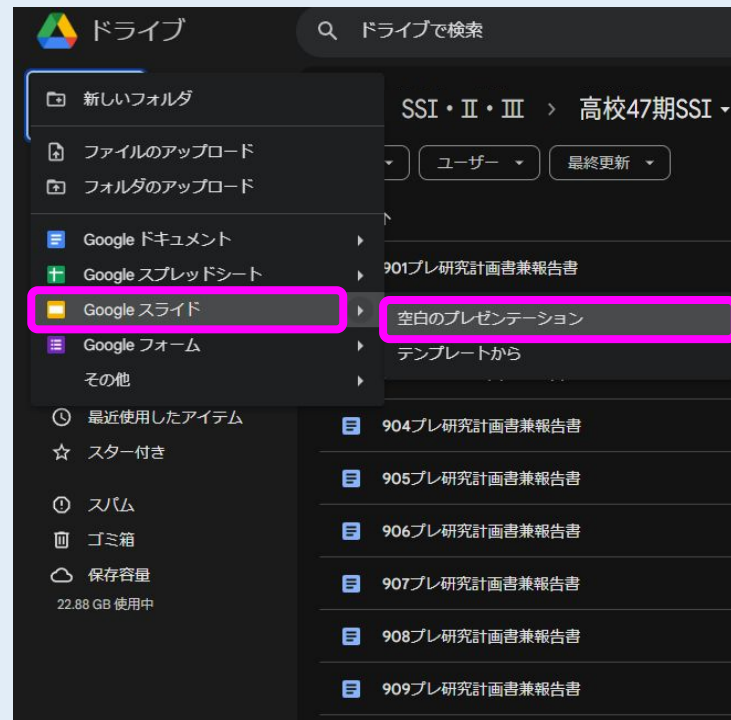


Google スライド

ファイル名:



920 研究計画発表



発表用スライドの準備② 基本構成

タイトルスライドを入れて**4**枚以上で作成。デザインは自由。

1

課題研究メソッド
p.142-144 ①

生成AIの社会的課題

チーム番号: 920

全員の 組番号 + 氏名

この3つを必ず入れる

プレ研究計画書兼報告書
(1) 研究テーマ

テーマ

チーム番号

メンバー

研究テーマについて、**分かりやすく**説明する。

2

課題研究メソッド
p.142-144 ③

研究背景

- 初めて発表を聞く人に内容を理解してもらうために、背景となる現状や先行研究・事例を説明する。
- 発表で用いる言葉の意味や定義、現状を表すデータ、先行研究・事例を紹介する。
- これまでどのような取り組みや研究が行われ、何が分かっているのか、何がすでに解決されているのかなどを説明する。

プレ研究計画書兼報告書
(2) 研究背景

リサーチエスションの背景や仮説の根拠となっている事実を述べる。

3

課題研究メソッド
p.142-144 ④⑤

リサーチエスション

- 研究に取り組んだリサーチエスションの内容とそれが生じた背景を示し、研究の目的を示す。
- この研究で考えられる社会や学術への貢献、社会的な意義を述べることで、聴衆の注目をより集めることができる。
- プレゼンテーションの導入部分として、「この研究は必要だ」、「面白そうだ」というように興味をもってもらえるようにまとめる。

プレ研究計画書兼報告書
(3) ① リサーチエスション
(3) ② リサーチエスションの意義

何がまだ答えの明らかになっていないことなのか、自分たちが何を解決したいのかを**明確に**説明する。

4

課題研究メソッド
p.142-144 ④⑤

仮説と検証方法

- リサーチエスションに対し、自分たちの設定した「仮説」(予想される仮の答え)をどのように設定したのかを説明する。
- 先行研究・事例から根拠を持って仮説を示すことが大事である。
- できるだけ複数の仮説を設定する。
- どのような研究方法を用いてリサーチエスションの解決に挑むのか、具体的に述べる。
具体的でない例: 「インターネットで調べる」、「アンケートを行う」

プレ研究計画書兼報告書
(3) ③ 仮説

仮説の根拠を現在明らかに**なっている事実**をもとに、**論理的に**説明する。

発表用スライドの準備③ 参考文献

最終スライドにて、本発表で引用・参照した文献をまとめて示す。

※詳細は課題研究メソッドp.176－177

- 本(日本語): 吉川俊哉 (2011). 『大学とは何か』 岩波書店.
(著者) (発行年) (書名) (出版社)
- 論文(日本語): 中野由美子 (1974). 「階層と言語 教育社会学における言語研究の位置づけ」
(著者) (発行年) (論文のタイトル)
『教育社会学研究』 29(0), 146-160.
(雑誌名) (巻数・号数) (論文のページ)
- Webページ: 文部科学省 (2012). 「大学改革実行プラン～社会変革のエンジンとなる大学づくり～」
(作成者) (公開年: 不明な場合は省略可) (Webページ名)
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/022/shiryo/icsFiles/afieldfile/2012/09/19/1325116_7.pdf
(URL)
2020年11月2日.
(アクセス日)

本日の活動

STEP1	研究テーマを決める	4月
STEP2	リサーチクエスチョンを導く	5月
STEP3	仮説を立てる	6月
STEP4	適切な研究方法を選ぶ	7月
中間目標	研究計画書を作成する	7月
STEP5	調査を実施する	9月
STEP6	結果をまとめて考察し、結論を導く	9月
STEP7	研究内容をまとめる	9月



この部分

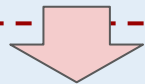
プレ探究ノート

(2)まで完了

(3)(4)着手

(2) 先行研究を調べてみよう

先人たちが行った研究の諸業績をふまえる。



先行研究



文献

自分が行おうとしている
研究テーマと同じ分野で
先に発表されている研究



インターネット



論文

(2) 先行研究を調べてみよう

☆ 参考になりそうな資料(論文・報告書・記事など)の書誌情報とリンクを貼っておこう！

[CiNii Articles]

主に日本で出版された学術論文や図書、雑誌に関する学術情報データベース。日本の大学の博士論文、大学図書館の収蔵図書についても検索ができる。日本(語)に特化した内容を調べる場合は、非常に有効である。

[Google Scholar]

学術専門誌や論文、書籍、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索できるサービス。手軽に使用できるので、多くの研究者が利用している。対応言語も多い。

他に、特許も含めて検索できるJ-GLOBAL、様々な分野から検索できるJ-STAGE(J-STAGE)、また官公庁などが公表している報告書などがある。
いずれも、オンラインアクセスできる文献は限られているので注意すること。

- ① 書誌情報(作者・タイトル・書誌情報) ② リンク(参考にしたWebページのURLなど)
③ 上記の資料に書かれている内容について簡潔にまとめよう。

例	①書誌情報	剣持武彦 『夏目漱石『草枕』とロレンス・スターン『トリストラム・シャンディの生活と意見』』 『清泉女子大学紀要』
	②リンク	https://seisen.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=280&file_id=18&file_no=1
	③内容	イギリス留学を経た夏目漱石が英文学の知見を踏まえてどのような文学作品を創作したか。
1	①書誌情報	
	②リンク	
	③内容	

(2) 先行研究を調べてみよう

情報源	メリット	留意点
書籍	体系的にまとまっており、用語の定義や歴史的背景を知るのに最適。 査読や校閲を経て出版されているため信頼性が高い。	出版から時間が経過している場合、最新の情報ではない可能性がある。 著者の経歴を確認すること。
一般的なWebサイト	最新のニュース、速報、個人の多角的な意見に触れられる。 公的機関(.go.jp)の統計データなどは一次ソースとして有用。	「誰が書いたか」が不明なものが多い。 広告目的や個人の主観が混じりやすい。 必ず他の情報源とのクロスチェックを行うこと。
日経電子版	経済・産業の専門家による分析。 社会的なトレンドや「今、何が課題か」という社会実装の視点を得られる。	経済的側面が強調される傾向にある。 科学的・中立的な視点を持つために、学術論文などとの併用が必要である。
学術論文	特定の「問い」に対する厳密な検証結果。 引用文献が明記されており、知識の根拠(エビデンス)として最も強力である。	専門用語が多く難解。 実験条件が限定的なため、その結果が常に一般化できるとは限らない。

【STEP2】 問いとリサーチクエスチョン

《 課題研究 》

まだ答えの分かっていない「**問い**」に取り組む。

研究テーマ

何に焦点を当てて研究を行うかを示すもの

問い

漠然とした疑問を疑問文の形で表したもの

発展

解決すべき本質的な問い(≡ issue)

リサーチクエスチョン

研究全体で明らかにしたいこと

ワーク③ (3)問いを立てよう

研究テーマ



問い

何に焦点を当てて研究を行うかを示すもの

漠然とした疑問を

疑問文の形で表したもの

いくつかの

「問いの種類」にあてはめてみる

(3) 問いを立てよう

問いの種類	問い
言葉の意味や定義を問う「問い」	〇〇の意味は？ 〇〇の定義は？ 例：「安全なトイレ」とは？「衛生的」とは？
原因(なぜ)を問う「問い」	なぜ〇〇が生じているのか？ 例：なぜ災害時にトイレが不足するのか
信憑性を問う「問い」	〇〇は本当に生じているのか？ 例：トイレ不足によって健康に影響は出ているのか？
比較を行う「問い」	• ほかの物質や異なる条件ではどうなるのか？ 例：過去の災害ごとのトイレの状況はどのように異なるか？
先行研究・先行事例を問う「問い」	〇〇に対して、どのような取り組み、研究が行われてきたのか？ 例：過去の災害においてどのようなトイレ問題が生じているのか？
影響を	〇〇によって、どのようなことが起こるのか？ 例：携帯トイレを備蓄することで災害時にどのような効果がもたらされるのか？

プレ探究ノート(3)

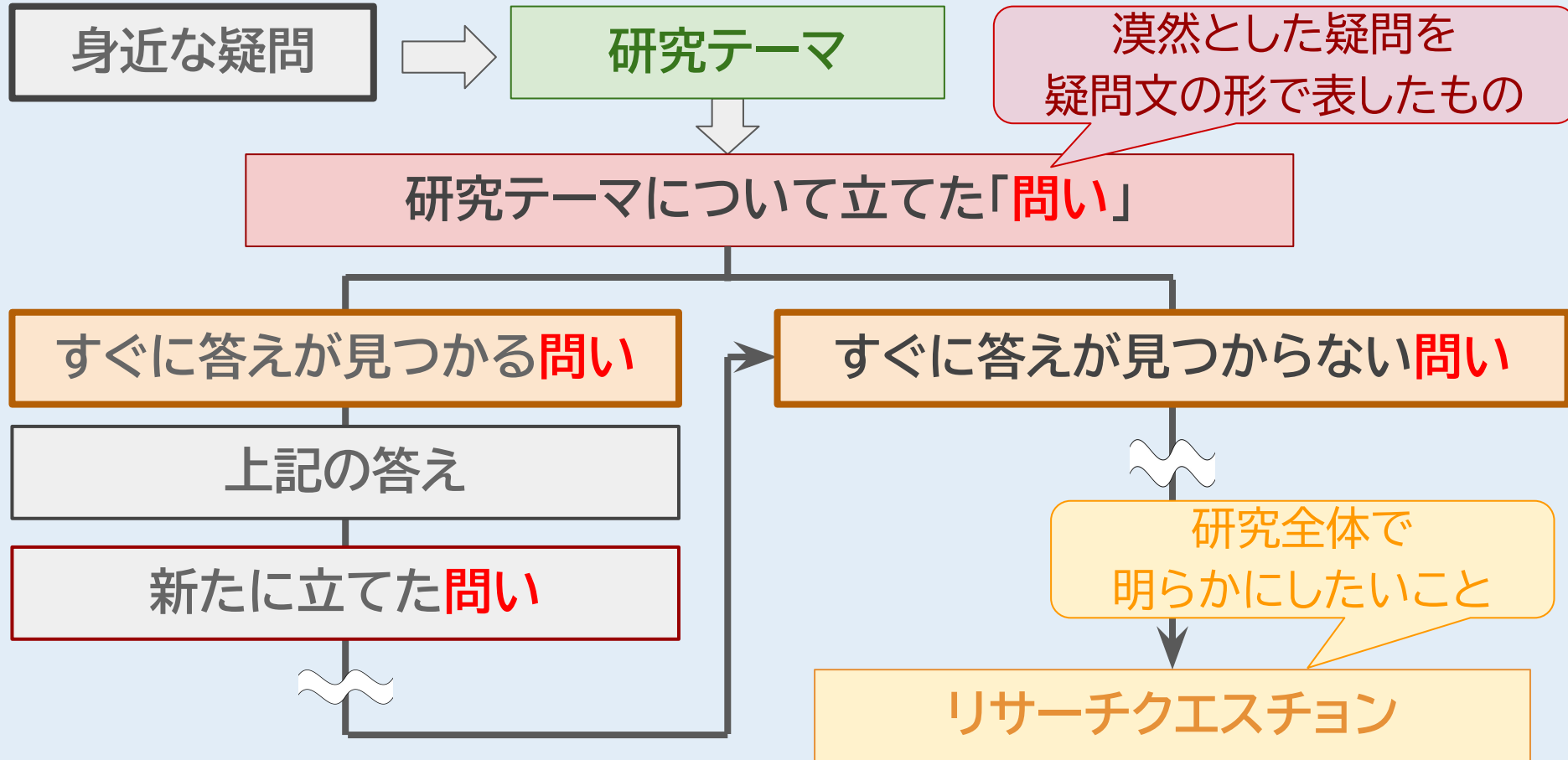
【STEP2】 研究テーマに対して問いを立てる

問いの種類	問い
言葉の意味や定義を問う「問い」	〇〇の意味は？ 〇〇の定義は？
原因(なぜ)を問う「問い」	なぜ〇〇は生じているのか？
信憑性を問う「問い」	〇〇は本当に生じているのか？
比較を行う「問い」	● 過去にくらべて、〇〇はどのように変化しているのか？ ● 〇〇はどの程度進んでいるのか？ ● 他国ではどれくらい〇〇が進んでいるのか？ ● ほかの物質や異なる条件ではどのようなになるのか？

【STEP2】 研究テーマに対して問いを立てる

問いの種類	問い
先行研究・先行事例を問う「問い」	● ○○に対して、どのような取り組み、研究が行われてきたのか？
影響を問う「問い」	● ○○によって、どのようなことが起こるのか？
方法や関連性を問う「問い」	● ○○と△△にはどのような関連があるのか？ ● どのようにして○○を行う(○○は行われている)のか？

【STEP2】 「問い」を発展させる



ワーク② (4)リサーチクエスチョンの導出

リサーチクエスチョン

「課題研究全体で
明らかにしていきたい問い」

「問い」を多面的に検証し、
分解してみよう！

リサーチクエスチョンとして
適切かどうかを検証！

(4) 先行研究を踏まえて、立てた問いからリサーチクエスチョンを導出してみよう！

★「リサーチクエスチョン」とは → 「問い」の発展：「課題研究全体で明らかにしていきたい問い」
「すぐに解決できる問い」ではなく、
仮説を立てて、それを検証していくことで明らかにしていくような問いである。
→ 「問い」を多面的に検証し、分解してみよう！

【研究テーマの検証・先行研究調査のポイント】

- ☐ 興味・関心との関連があるか？
- ☐ 社会的な課題もしくは学術分野との関連が見込めているか？
- ☐ 抽象的で広くとらえられるような言葉を具体的な文言に言い換えられているか？
- ☐ 研究テーマで取り上げた課題の現状について、客観的なデータを収集し、理解できているか？
- ☐ 社会科学系：関連する生徒や法律、歴史的背景を理解しているか？
- ☐ 自然科学系：関連する原理や原則、理論(定理など)を理解しているか？

【リサーチクエスチョン検証のポイント】

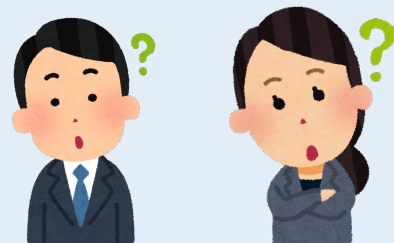
- ☐ リサーチクエスチョンに用いられている言葉の意味や定義を理解しているか？
- ☐ ある問いの答えに対して新たに問いを立てることで、問いを発展させられているか？
- ☐ 先行研究や事例から、そのリサーチクエスチョンに取り組む意義を見出せているか？
- ☐ 「いつ」「どこ」「だれ」など、多面的に検証してリサーチクエスチョンを具体化できているか？
- ☐ 関連する学術分野は何か？
- ☐ 答えがすぐに見つかるリサーチクエスチョンになっていないか？(現状の調べ学習で完結するものになっていないか？)
- ☐ 研究を進めるためには何が必要か？それは準備可能か？
- ☐ 取り組みが可能なリサーチクエスチョンか？

【リサーチクエスチョンの候補】

プレ探究ノート(4)

【STEP2】 リサーチクエスチョンの導出

- ❑ リサーチクエスチョンに用いられている言葉の意味や定義を理解しているか？
- ❑ ある問いの答えに対して新たに問いを立てることで、**問いを発展**させられているか？
- ❑ 先行研究や事例から、そのリサーチクエスチョンに**取り組む意義**を見出せているか？
- ❑ 「いつ」「どこ」「だれ」など、多面的に検証して**リサーチクエスチョンを具体化**できているか？
- ❑ 関連する学術分野は何か？
- ❑ 答えがすぐに見つかるリサーチクエスチョンになっていないか？
- ❑ 研究を進めるためには何が必要か？それは準備可能か？
- ❑ 取り組みが可能なリサーチクエスチョンか？



次回の予定

次回 → 6月23日(火) 6限

- プレ探究ノート(4) 続き
- プレ探究ノート(5)

現時点での調査を踏まえ、
自身のリサーチクエスションに対して、
「仮の答え」である「仮説」を立ててみましょう。

スライドの準備も並行して始めよう！

STEP1	研究テーマを決める
STEP2	リサーチクエスションを導く
STEP3	仮説を立てる
STEP4	適切な研究方法を選ぶ
中間目標	研究計画書を作成する
STEP5	調査を実施する
STEP6	結果をまとめて考察し、結論を導く
STEP7	研究内容をまとめる